

科目名	キャリア演習Ⅱ						
Course Name	Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	クラス担任 (久保田・秋山・松崎)						
連絡先(質問等)	授業中に指示します						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>本授業では、社会人になってから役立つ基礎的知識や態度を身につけ、社会で活躍する際に必要な即応力やプレゼンテーション能力などの資質向上を目指す。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。</p> <p>②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。</p> <p>③自分がどのような職業に興味があり、向いているのか、その適性を考え、言語化できるようにする。</p> <p>④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。</p> <p>⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	プレゼンテーション等、能動的な学習方法を取り入れる。グループワークでは仲間と協力して取り組むようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので積極的に行って欲しい。プレゼンテーションをする機会を与える。						
学習成果	L01	自分の適性を考え、職業生活を設計し、就職活動ができる。職務遂行の必要条件として、プレゼンテーションできる。					
	L02	職業人としてふさわしい価値観や態度を他者に示せる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題はクラス毎に返却する。返却時期はクラス担任から説明する。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考資料は適宜指示、配布等をする。						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、自己実現に向けて授業に臨むこと。マナーを守り、課題を必ず提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	主体的かつ協動的に参加している。	15	15		
レポート/作品	10点の課題を二つ行い、要点を言語化していること。発表のメモ(1回5点)を4回出す(合計20点)。	20	20		
発表	プレゼンテーションで、大切な点を抑えている。詳細は講義で示す。	30			
小テスト					
試験					
その他					
合計		65	35		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション 授業概要と評価に関する説明 (全体 45 分: クラス指導 45 分)
	事前・事後学習	後期のキャリアに関してなすべきことを整理する。履修登録確認。
2	授業内容	御礼状等の書き方 秋山 【課題1】
	事前・事後学習	課題1を行う。
3	授業内容	外部講師の講話 現場で活躍する先輩保育者の講話 (全体 90 分) 【課題2: 感想文】
	事前・事後学習	課題2を行う。
4	授業内容	保育士申請について 久保田
	事前・事後学習	申請書類を作る。
5	授業内容	幼稚園教諭二種免許状申請について 秋山
	事前・事後学習	申請書類を作る。
6	授業内容	学校行事に向けて (クラス別 90 分)
	事前・事後学習	行事について皆で話し合い合意形成する。
7	授業内容	プレゼンの仕方 久保田 学習アンケート調査
	事前・事後学習	プレゼンの仕方の要点を整理し、プレゼンテーションの準備をする。
8	授業内容	プレゼンテーションの実践 I
	事前・事後学習	他者から良い点を学び、プレゼンテーションの準備をする。
9	授業内容	プレゼンテーションの実践 II
	事前・事後学習	他者から良い点を学び、プレゼンテーションの準備をする。
10	授業内容	プレゼンテーションの実践 III
	事前・事後学習	他者から良い点を学び、プレゼンテーションの準備をする。
11	授業内容	プレゼンテーションの実践 IV
	事前・事後学習	他者から良い点を学び、プレゼンテーションの準備をする。
12	授業内容	学習支援 I (課題別指導 45 分: クラス指導 45 分)
	事前・事後学習	学習支援で得たヒントを実践する
13	授業内容	学習支援 II (課題別指導 45 分: クラス指導 45 分)
	事前・事後学習	学習支援で得たヒントを実践する。
14	授業内容	地域支援事業に向けて
	事前・事後学習	地域支援事業について考え準備する。
15	授業内容	キャリア発達について (全体 60 分: クラス別 30 分)
	事前・事後学習	卒業へ向けて準備をする。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ(栄養士) (卒業研究) Career Seminar II						
年次	2	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	野中春奈、山崎敬子						
連絡先(質問等)	福祉棟研究室かメールで対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識・技術や態度を身につけ、自己を生かす職業に</p> <p>就くために必要になる計画立案力やチームワーク力を習得する。</p> <p>① より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。</p> <p>② 職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。</p> <p>③ 自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。</p> <p>④ 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p> <p>⑤ 栄養士の資格を目指す学生として幅広い基本知識を習得することができるようにする。</p> <p>⑥ 栄養士の資格を目指す学生として、コミュニケーション能力を養い状況判断ができるようにする。</p>						
授業の方法	グループごとにテーマを決め、グループワーク、アクティヴ・ラーニング、プレゼンテーション等を取り入れた実践的能動的な学習方法を行う。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>① 自分の職業生活を設計できる。</p> <p>② 自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。</p> <p>③ 職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。</p> <p>④ 栄養士としての実践力を養うことができる。</p> <p>⑤ 課題に取り組むことを通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。</p>					
	L04						
課題に対するフィードバック	最後の発表までに教員とのディスカッションを数回行う。						
教科書/参考図書	参考書は講義中に適宜指示する。						
履修上の留意点やルール等	●積極的に参加し、計画実現へ向け行動し反省し修正すること。●事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	課題に対して真摯に取り組み、グループ内での話し合いを積極的に行い、連携して作業を行っている。			30	
レポート/作品					
発表	発表内容が適切かつ正確にまとめられており、グループごとの役割等も明確に担い、明瞭で生き生きとした態度である。			70	
小テスト					
試験					

その他					
		合 計			100
回数		授業計画			
1	授業内容	講義ガイダンス(卒業研究に向けて)			
	事前・事後学習	テーマの調査			
2	授業内容	グループ分け、テーマの設定			
	事前・事後学習	テーマの調査			
3	授業内容	計画立案①			
	事前・事後学習	情報収集			
4	授業内容	中間報告①			
	事前・事後学習	情報収集			
5	授業内容	計画立案②			
	事前・事後学習	情報収集			
6	授業内容	計画立案③			
	事前・事後学習	情報収集			
7	授業内容	中間報告②			
	事前・事後学習	情報収集			
8	授業内容	資料集め、個別相談①			
	事前・事後学習	情報収集			
9	授業内容	資料集め、個別相談①			
	事前・事後学習	情報収集			
10	授業内容	発表原稿作成①			
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備			
11	授業内容	発表原稿作成②			
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備			
12	授業内容	発表原稿作成③			
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備			
13	授業内容	発表原稿作成④			
	事前・事後学習	プレゼンテーションの準備			
14	授業内容	研究発表①			
	事前・事後学習	他のグループのプレゼンテーションの評価			
15	授業内容	研究発表②			
	事前・事後学習	他のグループのプレゼンテーションの評価			

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ(社会福祉士)・卒業研究 Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤佳子 他						
連絡先(質問等)	栄養棟3階研究室またはメールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外、会議時間外						
必修/選択	選択(社会福祉士養成課程は受講することが望ましい)						
関連DP	DP2、DP4、DP6						
授業の概要と到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。</p> <p>②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。</p> <p>③社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。また、国家試験に向けた学習支援を行う。						
学習成果	L01						
	L02	幅広い専門性を元に、専門職としての基本的態度を修得することができる					
	L03	2年間の学び、相談援助実習を通して、社会の福祉問題を取り上げ、自分なりのテーマをもち研究活動を行う。					
	L04						
課題に対するフィードバック	提出された課題は添削し返却する。						
教科書/参考図書	令和元年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房、既購入) その他、国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等。						
履修上の留意点やルール等	進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①授業で使用する教材を準備している②演習時は仲間の意見を聞いた上で、自分の考えを述べたり、行動を修正するなど積極的に取り組んでいる。		30		
レポート/作品	社会福祉研究ノートは20点とする。その他の課題は10点である。S評価は、評価Sは、自分なりのテーマをもって、学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されていること。提出期限を守っている。		40	20	
発表	社会福祉研究ノートの発表を評価する。評価Sは練習を含め準備をしており、時間を守り、要点が述べられていること。			10	
小テスト					
試験					

その他					
		合計		70	30
回数	授業計画				
1	授業内容	オリエンテーション / 履修指導			
	事前・事後学習	自分自身の履修状況を確認し、単位の不足がないように履修計画を見直す。			
2	授業内容	事例研究① 実習を振り返って事例をみつける。記録の再構成			
	事前・事後学習	相談援助実習記録から、事例を深める			
3	授業内容	個別進路相談(履歴書の添削等)/事例研究②記録の再構成 *課題① 記録提出			
	事前・事後学習	就職試験に近い学生は履歴書を書いておく			
4	授業内容	個別進路相談(履歴書の添削等)/事例研究③支援計画立案			
	事前・事後学習	就職試験に近い学生は履歴書を書いておく			
5	授業内容	個別進路相談(履歴書の添削等)/事例研究④支援計画立案			
	事前・事後学習	就職試験に近い学生は履歴書を書いておく			
6	授業内容	事例研究⑤ パワーポイントの作成について説明			
	事前・事後学習	社会福祉研究ノートの計画書を作成しておく			
7	授業内容	社会福祉研究ノートの作成 (情報収集)、*課題② 研究計画書の提出			
	事前・事後学習	研究計画書を作成し、持参する。			
8	授業内容	キャリア講演会①(卒業生) *課題③ 感想レポート【社会福祉士フィールドと合同】			
	事前・事後学習	キャリア講演会を聞いた感想・学びを指定用紙にレポートする。			
9	授業内容	キャリア講演会②(施設長・人事担当者)*課題④ 感想レポート【社会福祉士フィールドと合同】			
	事前・事後学習	キャリア講演会を聞いた感想・学びを指定用紙にレポートする。			
10	授業内容	社会福祉研究ノートの作成			
	事前・事後学習	授業前に執筆途中のノートを提出し、授業中に添削説明を受け、修正作業を行う。			
11	授業内容	社会福祉研究ノートの作成			
	事前・事後学習	授業前に執筆途中のノートを提出し、授業中に添削説明を受け、修正作業を行う。			
12	授業内容	社会福祉研究ノートの発表会			
	事前・事後学習	発表準備(発表時間3分)、振り返り			
13	授業内容	社会福祉研究ノートの発表会 発表後は振り返りを行う			
	事前・事後学習	発表準備(発表時間3分)、振り返り			
14	授業内容	ビジネスマナー(名刺の渡し方、お茶の入れ方)			
	事前・事後学習	ビジネスマナーチェック			
15	授業内容	まとめ / :課題 社会福祉研究ノートの提出 *課題5 社会福祉研究ノート			
	事前・事後学習	国家試験に向けて、持ち物他不足がないかをチェック表に従って確認する。			

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ(介護福祉士) Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	和田晴美・久保由佳						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは各教員より説明する。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程は受講することが望ましい)						
関連 DP	DP2、DP4、DP6						
授業の概要と到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識、技術や望ましい態度等を学ぶ。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。</p> <p>②職業に関わる価値観、役割、責任を理解し、心構えを作れるようにする。</p> <p>③社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティブ・ラーニングを実施する。グループワークでは教員やメンバーと積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。また、国家試験に向けた学習支援を行う。						
学習成果	L01	自分の職業生活を設計できる。					
	L02	自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	提出された課題は、確認後コメントをつけて返却する。小テストの実施後は解答と解説を行う。						
教科書/参考図書	令和元年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房、既購入) その他、国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等を使用する。						
履修上の留意点やルール等	進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③積極的に取り組んでいる。	30			
レポート/作品	10点満点のレポート課題を3つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守る。		30		
発表	第3回目、第6回目の授業で、国家試験に準じた内容の小テストを実施する。実施後、答え合わせと解説を行う。		40		
小テスト					
試験					

その他				
合 計		30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション / 履修指導
	事前・事後学習	自分自身の履修状況を確認し、単位の不足がないように履修計画を見直す。
2	授業内容	国家試験に向けた学習支援①
	事前・事後学習	過去の国家試験問題を調べ、解答する。
3	授業内容	国家試験に向けた学習支援② <小テスト①> 【課題① 模擬問題の実施】
	事前・事後学習	国家試験模擬問題で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。模擬問題集の指定ページを解き、自己採点する。不正解の問題は解説集を転記する。
4	授業内容	事例研究のまとめ①
	事前・事後学習	自分の事例に関連する文献を3つ以上検索し、印刷する。
5	授業内容	事例研究のまとめ②
	事前・事後学習	事例紹介～実施・評価まで Word で文章作成する。
6	授業内容	国家試験に向けた学習支援③ <小テスト②>
	事前・事後学習	国家試験模擬問題で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。
7	授業内容	国家試験に向けた学習支援④
	事前・事後学習	国家試験模擬問題で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。
8	授業内容	キャリア講演会①(卒業生) 【課題② 感想レポート】(社会福祉士フィールドと合同)
	事前・事後学習	キャリア講演会を聞いた感想・学びを指定用紙にレポートする。
9	授業内容	キャリア講演会②(施設長・人事担当者)【課題③ 感想レポート】(社会福祉士フィールドと合同)
	事前・事後学習	キャリア講演会を聞いた感想・学びを指定用紙にレポートする。
10	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑤(学力評価試験)
	事前・事後学習	学力評価試験で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。
11	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑥
	事前・事後学習	国家試験模擬問題で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。
12	授業内容	事例研究のまとめ③
	事前・事後学習	発表に向けパワーポイントを完成させる(実施～最後まで)。
13	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑦
	事前・事後学習	国家試験模擬問題で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。
14	授業内容	国家試験に向けた学習支援⑧
	事前・事後学習	国家試験模擬問題で不正解だった問題を解答し、関連事項を調べる。
15	授業内容	まとめ / 国家試験に向けた学習支援⑨
	事前・事後学習	国家試験に向けて、持ち物他不足がないかをチェック表に従って確認する。

科目名 Course Name	キャリア演習 II (卒業研究) Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	古川貴子						
連絡先(質問等)	講義棟 2F研究室か、メールで対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP3、DP4、DP5						
授業の概要と到達目標	就職し社会人となってから役立つような基本的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術や望ましい態度等を学ぶ。 ①より良い進路実現に向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割、責任を理解し、心構えを持てるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えることができるようにする。 ⑤就職し、社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥医療秘書としての役割と必要性について理解し、行動できるようにする。 ⑦専門職として職場でのコミュニケーション能力を身につけることができるようにする。						
授業の方法	各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現することを心掛けるようにして欲しい。						
学習成果	L01						
	L02	職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。					
	L03	就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストは試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内にフィードバックする。レポートは個別に総評を伝える。						
教科書/参考図書	医療秘書検定 2 級問題集①・② 早見表(医学通信社)						
履修上の留意点やルール等	●グループワーク等に積極的に参加し、医療秘書検定 2 級の合格を目指し、課題を必ず提出すること。●事前・事後学習に費やす時間は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:病院事務 職歴:通算 9 年)病院事務職や相談業務の経験を、グループワークや、患者対応等及び、レセプト請求業務に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。		40		
レポート/作品	課題を期日内に提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。			20	
発表					
小テスト	3 回の小テストを行い、理解度を図る。			30	
試験					

その他	卒業研究課題を期日内に提出している。		10	
合計			50	50

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション 医療秘書とは
	事前・事後学習	医療秘書の役割とは何かを調べておくこと。
2	授業内容	医療秘書の役割と必要性 (レポート 1 医療秘書の役割と必要性について)
	事前・事後学習	医療秘書の必要性を調べておくこと。
3	授業内容	医療機関の組織と理解 ※ グループワーク I
	事前・事後学習	どのような組織があるのかを調べておくこと。
4	授業内容	基礎薬理 ①
	事前・事後学習	基礎薬理の復習をすること。
5	授業内容	基礎薬理 ② (小テスト 1)
	事前・事後学習	基礎薬理の復習をすること。
6	授業内容	臨床薬理 ① ※グループワーク II
	事前・事後学習	臨床薬理の復習をすること。
7	授業内容	臨床薬理 ② (小テスト 2)
	事前・事後学習	臨床薬理の復習をすること。
8	授業内容	ケースワーク I
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。
9	授業内容	ケースワーク II ※グループワーク III
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。
10	授業内容	ケースワーク III (レポート 2 ケースワークの感想)
	事前・事後学習	自分の意見をまとめること。
11	授業内容	傾向と対策 1
	事前・事後学習	対策問題の復習をすること。
12	授業内容	傾向と対策 2 ※グループワーク IV
	事前・事後学習	対策問題の復習をすること。
13	授業内容	傾向と対策 3
	事前・事後学習	対策問題の復習をすること。
14	授業内容	傾向と対策 4 (小テスト 3)
	事前・事後学習	対策問題の復習をすること。
15	授業内容	傾向と対策のまとめ (卒業研究提出)
	事前・事後学習	対策問題の復習をすること。

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ(観光ホスピタリティ) Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室 1)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術・望ましい態度等を学習する。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観・役割・責任を学習し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、キャリア・アップに精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02	<p>①自分の職業生活を設計できる。 ②自己の職業への適性を自覚し、必要な能力を高めることができる。 ③職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 ④就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。</p>					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房、既購入)及び長江庸泰作成の“デジタルテキスト[キャリア演習Ⅱ 2020 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 45 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:40 年)、実務経験を受講者の進路確定とキャリア・アップに活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。		10		
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。		30		
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。		20		

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59		20		
試験	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59		20		
その他	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別学習支援・ワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別学習支援・ワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動の流れ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える① (個別学習支援・グループワーク)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループA。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループB。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返り、発表。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてのまとめ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

科目名	キャリア演習Ⅱ(スポーツ)(卒業研究)						
Course Name	Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	板倉茂樹						
連絡先(質問等)	本館2階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外、15:30まで。						
必修/選択	選択						
関連DP	DP1、DP2						
授業の概要と到達目標	<p>就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術 や望ましい態度等を学ぶ。</p> <p>①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。④相手の伝えたいことを察し、相手をつかみながら自分の思いを伝えられるようにする。⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に 関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。						
学習成果	L01	(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
	L02						
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題に対しては、授業時間内及びオフィスアワーの時間で対応する。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房、既購入)。参考書は講義中に適宜指示する。						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題を必ず提出すること。教室への食べ物は持ち込み禁止、携帯電話の使用禁止。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分である。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。	30			
レポート/作品	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。	70			

発表					
小テスト					
試験					
その他					
合 計			100		
回数		授業計画			
1	授業内容	ガイダンス 履修指導 卒業研究テーマ設定			
	事前・事後学習	卒業研究テーマにむけた計画を立てる。			
2	授業内容	学習支援・進路個人面談① 就職内定者＝資格試験対策問題の実施			
	事前・事後学習	資格試験対策問題を解く。			
3	授業内容	タイムマネジメントについての説明及びディスカッション【課題1】受講内容の要約を時間内に提出			
	事前・事後学習	課題1を行う。			
4	授業内容	職場での人間関係についてグループワークを行う【課題2】グループワークで出た意見をまとめ時間内に発表			
	事前・事後学習	課題2を行う。			
5	授業内容	マネープランについての説明及び自身のプラン作成【課題3】自身のマネープランを作成し、時間内に提出			
	事前・事後学習	課題3を行う。			
6	授業内容	就職活動中の者:学習支援・進路個別面談② 就職内定者:就職活動について報告書作成 卒業研究中間報告			
	事前・事後学習	報告書作成及び卒業研究のまとめを行う。			
7	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実施①			
	事前・事後学習	実技試験の練習を行う。			
8	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実施②			
	事前・事後学習	実技試験の練習を行う。			
9	授業内容	資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実施③			
	事前・事後学習	学習支援・実技試験の練習を行う。			
10	授業内容	冠婚葬祭のマナーについて【課題4】受講内容の要約を時間内に提出			
	事前・事後学習	配布プリントを整理する。			
11	授業内容	お中元、お歳暮、年賀状などのマナーについて【課題5】受講内容を時間内に提出			
	事前・事後学習	課題5を行う。			
12	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実際④			
	事前・事後学習	問題を解く。			
13	授業内容	学習支援・資格取得に関わる模擬問題・実技指導の実際⑤			
	事前・事後学習	問題を解く。			
14	授業内容	卒業研究発表【課題6】卒業研究の資料を提出			
	事前・事後学習	資料のまとめを行う。			
15	授業内容	まとめ【課題7】キャリア教育から学んだこと			
	事前・事後学習	課題7を行う。			

科目名	キャリア演習 II						
Course Name	Career Seminar II (卒業研究)						
年次	2	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	亀田和則						
連絡先(質問等)	講義棟 2 階の研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP3 DP6						
授業の概要と到達目標	進路指導を通じて、留学生の日本語力を向上させる。 ①面接の練習をする。(就職希望者) ②社説を 160 文字程度にまとめる。(編入希望者) 卒業研究として機械翻訳(スマホの翻訳機能等)の翻訳レベルを検証し評価する。この活動で得られたデータは、AI・ロボット概論で使用する。 ③機械翻訳を使いこなす。(就職希望者)(編入希望者)						
授業の方法	●就職希望者と編入希望者は、授業方法が異なる。 ●文章を書くとき、機械翻訳(スマホの翻訳機能等)を積極的に利用してよい。利用することで機械翻訳のクセを知る。						
学習成果	L01	自分の考えを的確に表現することができる。					
	L02						
	L03						
	L04	機械翻訳を使い、母国語で書いた文章を的確な日本語に翻訳することができる。 機械翻訳を使い、日本語で書いた文章を的確な母国語に翻訳することができる。					
課題に対するフィードバック	学生が提出する課題について、「良いところには赤○」をつけ、「直すところには赤×」をつける。						
教科書/参考図書	プリントを配布する。						
履修上の留意点やルール等	課題提出の期限を守ること。守らない場合、減点する。 事前・事後学習の時間の目安は各回 45 分である。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	先生と面談するとき、色々な質問をする。 評価基準は、「S(4):即答できる、A(3):30秒以内に答えられる、B(2):1分以内に答えられる、D(0):答えられない」である。	25			
レポート/作品	機械翻訳の翻訳レベルを検証するとき得られたデータと学生の積極性で評価する。 評価基準は、授業で伝える。				50
発表					
小テスト					
試験					
その他	先生に提出する課題で評価する。 評価基準は、「S(4):課題に対する解答が的確だ、A(3):解答が書かれているが改善すべき点がある、B(2):解答が部分的に書かれているが的確でない、C(1):論点がずれている、D(0):左記以外」である。	25			
合計		50			50

回数		授業計画
1	授業内容	【就職希望】<第5章 面接・内定> 第1課 面接 pp.144-173 pp.151-156 の想定質問(企業、志望動機) Q1~Q9に記入する(ワークA①) 【編入希望】社説①を渡すので、社説の内容を160文字程度にまとめる(ワークB①)
	事前・事後学習	【就職希望】事前:就職したい会社を選んでおく。(準備) 事後:ワークA①に記入する 【編入希望】事後:ワークB①に記入する
2	授業内容	【就職希望】ワークA①を提出する 次回の授業前に採点結果をフィードバックする <第5章 面接・内定> 第1課 面接 pp.144-173 pp.156-160 の想定質問(日本で就職したい理由、仕事観) Q1~Q10 に記入する (ワークA②) 【編入希望】ワークB①を提出する 次回の授業前に採点結果をフィードバックする 社説②を渡すので、社説の内容を160文字程度にまとめる(ワークB②)
	事前・事後学習	【就職希望】事後:ワークA①のフィードバックの結果を研究室へ取りに来る 【編入希望】事後:ワークB①のフィードバックの結果を研究室へ取りに来る
3	授業内容	【就職希望】ワークA②を提出する 次回の授業前に採点結果をフィードバックする <第5章 面接・内定> 第1課 面接 pp.144-173 pp.156-160 の想定質問(日本で就職したい理由、仕事観) Q1~Q10 に記入する (ワークA③) 【編入希望】ワークB②を提出する 次回の授業前に採点結果をフィードバックする 社説③を渡すので、社説の内容を160文字程度にまとめる(ワークB③)
	事前・事後学習	【就職希望】事後:ワークA②のフィードバックの結果を研究室へ取りに来る 【編入希望】事後:ワークB②のフィードバックの結果を研究室へ取りに来る
4	授業内容	【就職希望】ワークA③を提出する 次回の授業前に採点結果をフィードバックする 【編入希望】ワークB③を提出する 次回の授業前に採点結果をフィードバックする
	事前・事後学習	【就職希望】事後:ワークA③のフィードバックの結果を研究室へ取りに来る 【編入希望】事後:ワークB③のフィードバックの結果を研究室へ取りに来る
5	授業内容	【就職希望】フィードバックした結果をもとに面接する 【編入希望】フィードバックした結果をもとに面接する
	事前・事後学習	面接ができない学生は、次の授業までの時間で面接する
6	授業内容	日本語で作る文章と英語で作る文章の違いを説明し、英語に翻訳しやすい日本語の文章のルールを学ぶ(資料を配布する) 資料に書かれている英語に翻訳しやすい日本語例文(短文:40文字以内)を母国語で翻訳する 「母国語で翻訳する」の結果について、留学生が「①自然な表現でわかりやすい」「②あいまいな表現があるが、内容がわかる」「③読み手がかなり努力しないと、内容が伝わらない」「④左記以外」で評価する。
	事前・事後学習	事後:母国語に翻訳しやすい日本語の例文を考える
7	授業内容	前回の続き 日本語で作る文章と英語で作る文章の違いを説明し、英語に翻訳しやすい日本語の文章のルールを学ぶ 資料に書かれている英語に翻訳しやすい日本語例文(短文:40文字以内)を母国語で翻訳する 「母国語で翻訳する」の結果について、留学生が「①自然な表現でわかりやすい」「②あいまいな表現があるが、内容がわかる」「③読み手がかなり努力しないと、内容が伝わらない」「④左記以外」で評価する。
	事前・事後学習	事後:第6回目、第7回目の授業でえられた結果を個人でまとめる

8	授業内容	第6回目、第7回目の授業でえられた結果をまとめる(出身国によるグループワーク) 次回の授業でまとめた内容を先生に説明する
	事前・事後学習	事後:発表するための準備をする
9	授業内容	第8回目の授業でまとめた内容を発表する(出身国によるグループワーク)
	事前・事後学習	事前:発表するための準備をする
10	授業内容	事前に準備した「留学生が考える母国語で書かれた短文」を日本語に翻訳する。 日本語への翻訳結果について、先生が「①自然な表現でわかりやすい」「②あいまいな表現があるが、内容がわかる」「③読み手がかなり努力しないと、内容が伝わらない」「④左記以外」で評価する。
	事前・事後学習	事前:授業の中で翻訳する「留学生が考える母国語で書かれた短文」を2つ考えておく 事後:評価「①自然な表現でわかりやすい」を取得できるように、母国語で書かれた短文を修正する。
11	授業内容	前回の続き 事前に準備した「留学生が考える母国語で書かれた短文」を日本語に翻訳する。 日本語への翻訳結果について、先生が「①自然な表現でわかりやすい」「②あいまいな表現があるが、内容がわかる」「③読み手がかなり努力しないと、内容が伝わらない」「④左記以外」で評価する。
	事前・事後学習	事前:授業の中で翻訳する「留学生が考える母国語で書かれた短文」を2つ考えておく 事後:評価「①自然な表現でわかりやすい」を取得できるように、母国語で書かれた短文を修正する。
12	授業内容	前回の続き 事前に準備した「留学生が考える母国語で書かれた短文」を日本語に翻訳する。 日本語への翻訳結果について、先生が「①自然な表現でわかりやすい」「②あいまいな表現があるが、内容がわかる」「③読み手がかなり努力しないと、内容が伝わらない」「④左記以外」で評価する。
	事前・事後学習	事前:授業の中で翻訳する「留学生が考える母国語で書かれた短文」を2つ考えておく 事後:評価「①自然な表現でわかりやすい」を取得できるように、母国語で書かれた短文を修正する。
13	授業内容	これまでの活動を出身国によるグループワークでまとめる
	事前・事後学習	事後:グループワーク
14	授業内容	前回の続き これまでの活動を出身国によるグループワークでまとめる
	事前・事後学習	事後:グループワーク
15	授業内容	機械翻訳の翻訳精度に関するレポートを提出
	事前・事後学習	事後:教員がチェックし修正する箇所があれば、指摘する(再提出)

科目名 Course Name	キャリア演習Ⅱ (ビジネスデザインフィールド) Career Seminar II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	小林大輔						
連絡先(質問等)	講義棟1F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP3 DP5						
授業の概要と到達目標	社会人となってから役立つ基礎知識や技術を学ぶ。 ①進路実現の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分の適正を具体的に考えられるようにする。 ④相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションができるようにする。						
授業の方法							
学習成果	L01	自分の職業生活を設計できる。)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。					
	L02	職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 ビジネスマナーとビジネス文書作成スキルを修得し、就職活動を自主的かつ円滑に行うことができる。					
	L03	就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	提出された課題はその場で確認する。						
教科書/参考図書							
履修上の留意点やルール等	演習中の私語や、演習以外の PC の利用は慎むこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 90 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	共同作業に積極的に参加できる。テーマについてのディスカッションに積極的に参加できる。	30			
レポート/作品	短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションを作成する。 満点=2年生前期までの学習成果について要点をまとめられているか。 提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。		30	40	
発表					
小テスト					
試験					
その他					
合計		30	30	40	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 就職活動報告
	事前・事後学習	活動報告を PowerPoint で作る。
2	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
3	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
4	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
5	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
6	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
7	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
8	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
9	授業内容	内定者:メインユニットの資格検定対策 及び 卒業研究/制作 未内定者:業界研究及び就活指導
	事前・事後学習	検定の準備及び卒業研究/制作
10	授業内容	卒業研究/制作 グループワーク
	事前・事後学習	卒業研究/制作
11	授業内容	卒業研究/制作 グループワーク
	事前・事後学習	卒業研究/制作
12	授業内容	卒業研究/制作 グループワーク
	事前・事後学習	卒業研究/制作
13	授業内容	卒業研究/制作 グループワーク
	事前・事後学習	卒業研究/制作
14	授業内容	卒業研究/制作 グループワーク
	事前・事後学習	卒業研究/制作
15	授業内容	卒業研究/制作 グループワーク
	事前・事後学習	卒業研究/制作